

05_航空機の認証に関わる技術を集約した認証技術DXプラットフォームの構築 一般社団法人航空イノベーション推進協議会(AIDA)

【概要】

現状、AIDAの委員会、及び航空機装備品認証技術コンソーシアム(CerTCAS)の活動の成果を体系的に集約し、これらの成果を必要としている者に対して提供できる仕組みが構築されていない。今回のフェージビリティスタディでは、これらの課題を解決し、CerTCASが保有する航空機の認証に関わる技術、AIDAが保有する航空機の新しい技術を、誰もが必要な時に容易にアクセスできるようにする認証技術DXプラットフォームの構築について検討した。その結果、求められるコンテンツを明確にするとともに、認証技術DXプラットフォーム構築に対する技術的な見通しを立てることができた。

【目標】

- (1) 認証技術DXプラットフォームとして求められるコンテンツの明確化
- (2) 認証技術DXプラットフォームを構築する際の技術的な課題の抽出と解決策
- (3) 認証技術DXプラットフォーム構築に向けての連携体制の構築

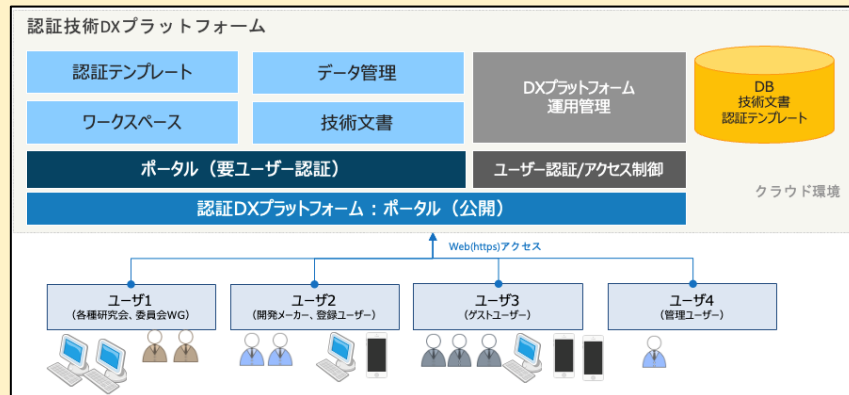
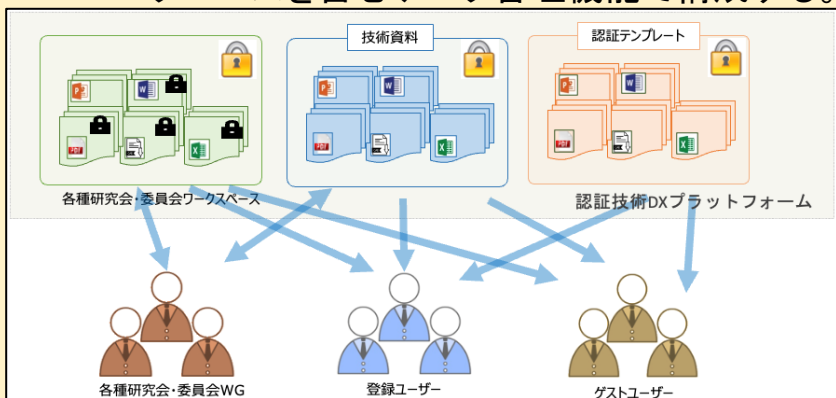
【実施項目及び実施結果】

- (1) 認証技術DXプラットフォームに求められるコンテンツを洗い出した。
 - (a) セミナー資料・ビデオ
AIDA及びCerTCASが開催しているセミナーの資料・ビデオを体系立てて整理しコンテンツとして蓄積する。
 - (b) 委員会・研究会活動の成果
AIDA及びCerTCASにおける委員会・研究会のメンバー間の情報共有、メンバー以外の不特定多数への情報提供を目的としたワーススペースを用意する。
 - (c) 認証申請ドキュメント及び認証ワークフロー
航空機、及び装備品の型式認証を申請する際に必要となる認証申請ドキュメント、及び申請者と審査機関とのワークフローを提供し、申請作業のDX化を進める。
- (2) SAE InternationalやRTCAが保有するシステムを参考として検討した結果、情報共有、意見交換の場としての認証技術DXプラットフォームの構築は、現状の技術で実現可能であることを確認した。一方で、認証申請のワークフローに関しては、動的なインタラクションを構築するための技術的、コスト的な課題が挙げられた。
- (3) AIDA、CerTCASのメンバーが中心となり、各メンバーの得意分野における専門性を発揮し、連携体制を構築して効率的、効果的に認証技術DXプラットフォーム構築を目指すこととした。

航空機の認証に関する技術を集約した認証技術DXプラットフォームの構築 一般社団法人航空イノベーション推進協議会(AIDA)

[短期計画]

- (1) 2023年度に以下のコンテンツを提供する認証技術DXプラットフォームを構築する(左下図)。2024年度、2025年度に、実際に運用することにより、システムを維持するとともに改善を加える。
 - (a) 各種研究会・委員会ワークスペースの提供
 - (b) 技術資料の公開
 - (c) 認証テンプレートの公開
- (2) 認証技術DXプラットフォームの要件は以下とする(右下図)。
 - (a) 認証技術DXプラットフォームは、クラウド環境に構築する。
 - (b) ユーザーは、PCおよびスマートフォンのWebブラウザにてDXプラットフォームにアクセスする。
 - (c) 認証技術DXプラットフォームとして求められる機能(ワークスペース、技術資料の公開、認証テンプレートの公開)の他に、ユーザ認証、アクセス制御機能、入口となるポータル、システム管理者用機能、データベースを含むデータ管理機能で構成する。



[長期構想]

短期計画で断念した認証ワークフローを認証技術DXプラットフォーム内に構築する。これにより、認証当局、申請者とのコミュニケーション(申請手続きを含む)を円滑に実施するシステムを構築する。加えて、今後、電動化の潮流を受けて増加することが期待される有人機の型式認証、装備品の認証にも適用可能とする。

